

教育現場における
諸施策について



高瀬 重嗣 議員

質問…学力の向上、特に読解力の向上に関する取り組みについて伺う。

答弁…ただ文章を読解するだけではなくて、読み取った内容に基づいて考えたり、自分の意見をまとめて論じたり、問題を解決したりする能力が読解力と解釈されるようになった。
学校においては、家庭と連携をしながら児童生徒に読書を推奨

したり、授業において新聞やデジタル教材を活用したりして、読解力の育成に取り組んでいる。特に、家読というシステム、

こういったものも将来的には取り組んでいきたいと思う。
質問…長文に触れる機会が減少している。学校に新聞を読める環境はあるのか。
答弁…総合学習の中で新聞の切り抜きを皆で回し読みする。

子供たちの評判もよい。
質問…小中学校の部活動における指導者の養成と指導力の向上について、指導者の適性はどこで測れるのか。

答弁…種目の専門性をしっかりと持っていること。それから、何よりも子供たちを大切にすること。子供の素質をしっかりと伸ばそうという熱い意識、強い意識、そういったものが要だ。

一般質問



千保 一夫 議員

市公共施設等総合
管理計画について

質問…今後市は公共施設等、全体の統廃合を含めた管理の方針、具体的個別施設計画策定の検討を行う。市が強引に住民を説得し、我慢させて押し進めると、地域を消滅させてしまう。市は住民生活を守ることを第一として、ここは踏ん張りどころだ。

本計画に基づく具体的な取り組み方は、適正性を確保し、慎重に進めるべきと思うがどうか。
答弁…国からは、急激な人口減少と少子高齢化が進行していく中、早急に公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって長寿命化、統廃合などを検討し、公共施設等の最適化に取り組むよう示されている。

質問…小中学校は答申書通りに再編整備を進める、と明言している。保育園等についても同じような記述がある。一番お金を食うのは学校教育関係施設の建て替えだ。従って財政効率を図ろうとすると、教育施設等を狙い撃ちするのが一番手取り早い。こんなことで安易に教育施設の統廃合が進められるのではないかと危惧している。
答弁…当然ながら、費用算出は施設の延べ面積で試算するので大規模な施設の改修は費用がかかるという結果になる。